

第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託 の概要について

令和6年3月6日
京都府福知山市上下水道部

○福知山市の水道給水区域と概要

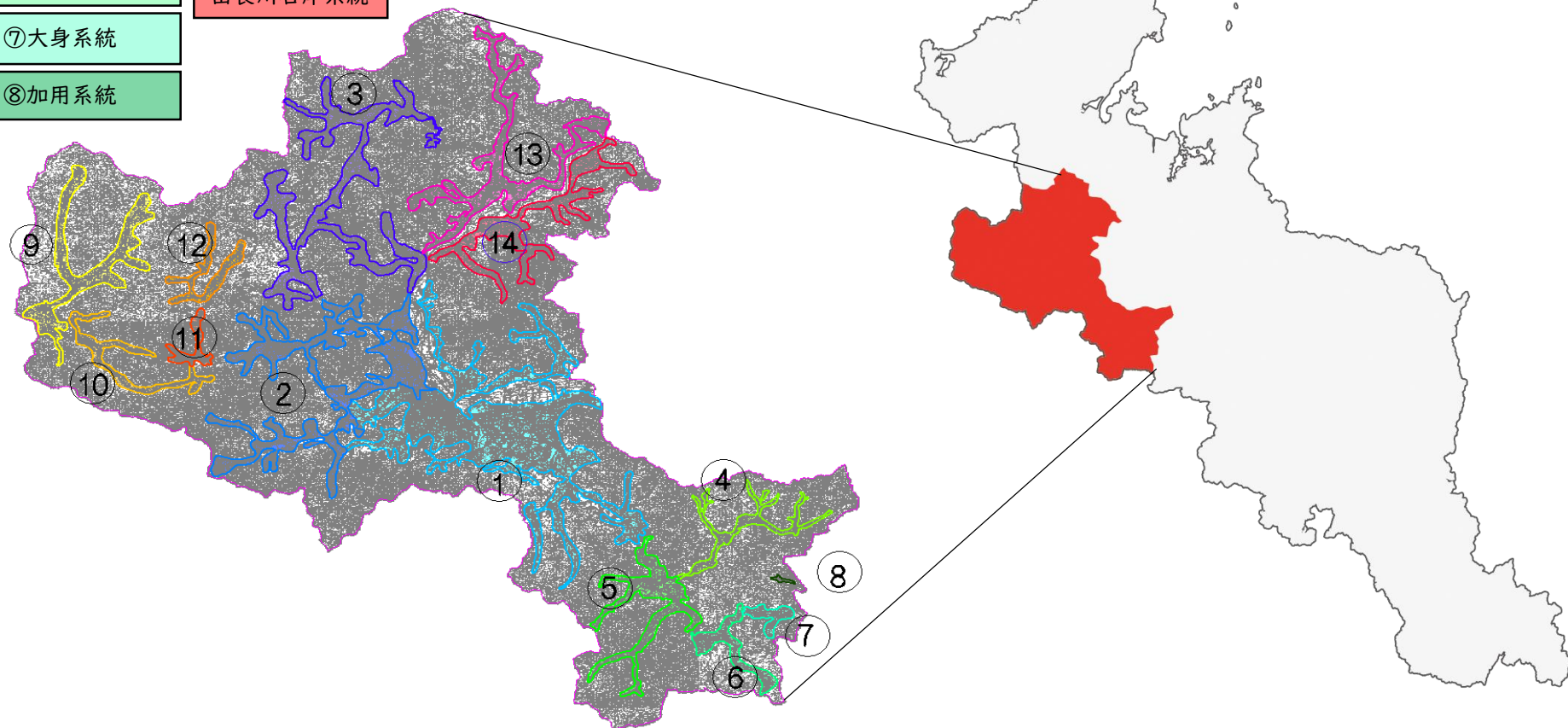
①堀系統	⑨上夜久野系統
②下荒河系統	⑩中夜久野系統
③北部系統	⑪額田系統
④川合系統	⑫畑系統
⑤細見系統	⑬大江町中央系統
⑥菟原系統	⑭大江町 由良川右岸系統
⑦大身系統	
⑧加用系統	

概要(令和4年度末)

○給水区域内人口	75,463人
○給水人口	75,206人
○給水戸数	36,375戸
○年間総配水量	11,035,766 m ³
○1日最大排水量	40,491 m ³

施設(令和4年度末)

○取水場	34施設	○浄水場	25施設
○配水池	106施設	○加圧ポンプ所	84ヶ所
○水質測定所	33ヶ所		
○管路	1,086,722 m		
(導水管20,726 m、送水管58,633 m、配水管1,007,363 m)			



○第一次包括的民間委託の導入

なぜ福知山市は包括的民間委託を導入したのか？

【将来の課題】

- ・ 水需要の低下による料金収入の減少
- ・ 老朽化管路・施設の更新費用増大による経営基盤の悪化



【収入の確保】平成29年7月料金改定



【経営改革】

料金改定を行うにあたっては、組織自ら経営改革を行う
必要があり官民連携を積極的に進める



▲上水道事業等包括的民間委託業務
 業務開始式（平成31年）

第一次包括的民間委託

- 期 間 **5年間**【平成31年4月1日から令和6年3月31日まで】
- 内 容 **一括委託**【従来から委託していた45業務に9業務を加え54業務】
- 方 法 **性能発注**【プロポーザル方式により決定】
- 契約先 **共同企業体**(メタウォーター(株)・メタウォーターサービス(株)・(株)フューチャーイン)
- 金 額 **約25億円**
- 開始日 **平成31年4月1日から包括的民間委託業務開始**

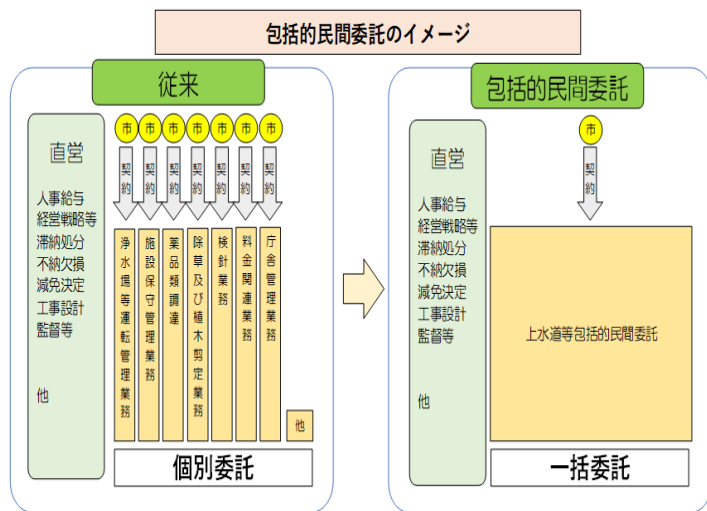
○第一次包括的民間委託の業務内容

委託業務

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 旧簡易水道日常保守管理業務 | 21 堀第1水源閉塞に伴うエアブロー業務 |
| 2 毎日採水・水質検査業務 | 22 ろ過池清掃業務 |
| 3 電気設備保守管理業務 | 23 有収率向上対策調査業務 |
| 4 電気計装設備保守管理業務 | 24 マッピング・給水詳細ファイリング業務 |
| 5 監視制御システム保守管理業務 | 25 除草業務 |
| 6 濁色度計・高感度濁度計保守管理業務 | 26 植木剪定業務 |
| 7 コンプレッサー保守管理業務 | 27 上下水道・農集事業 休日夜間対応業務 |
| 8 ICP発光分光分析装置点検整備業務 | 28 水道料金等徴収業務 |
| 9 イオンクロマトグラフ点検整備業務 | 29 宅内排水設備工事関連業務 |
| 10 超純水生成装置保守管理業務 | 30 水道事業個別業務 |
| 11 膜ろ過施設保守管理業務 | 31 上下水道料金システム保守業務 |
| 12 次亜生成装置電解槽酸洗い業務 | 32 上下水道料金システム構築業務 |
| 13 急速ろ過機・連続移動床砂ろ過機保守管理業務 | 33 庁舎・堀浄水場機械警備補助業務 |
| 14 細砂ろ過機保守管理業務 | 34 下荒河浄水場機械警備補助事業 |
| 15 膜ろ過機薬品洗浄業務 | 35 上下水道部定期清掃業務 |
| 16 浄水池ほか底部潜水清掃業務 | 36 下荒河浄水場管理棟清掃業務 |
| 17 自家発電設備保守点検業務 | 37 上下水道部庁舎ほか日常清掃業務 |
| 18 ホイスト・クレーン定期自主点検 | 38 庁舎1階シャッター保守点検業務 |
| 19 浄化槽清掃点検業務 | 39 自動扉設備保守点検業務 |
| 20 緊急修繕業務 | 40 上下水道部庁舎エレベータ保守点検業務 |

- | |
|----------------------|
| 41 上下水道部消防設備点検業務 |
| 42 庁舎ほかねずみ・衛生害虫防除業務 |
| 43 上下水道部環境測定業務 |
| 44 上下水道部庁舎空調機器保守点検業務 |
| 45 ガス空調機器保守点検業務 |
| 46 書類受付処理業務 |
| 47 給水装置工事申込等に係る業務 |
| 48 排水設備計画確認申請等に係る業務 |
| 49 料金減免等調定更正業務 |
| 50 水道施設運転管理業務 |
| 51 ユーティリティ管理業務 |
| 52 中期事業計画点検業務 |
| 53 施設情報運用計画 |
| 54 施設台帳更新業務 |

一括で委託

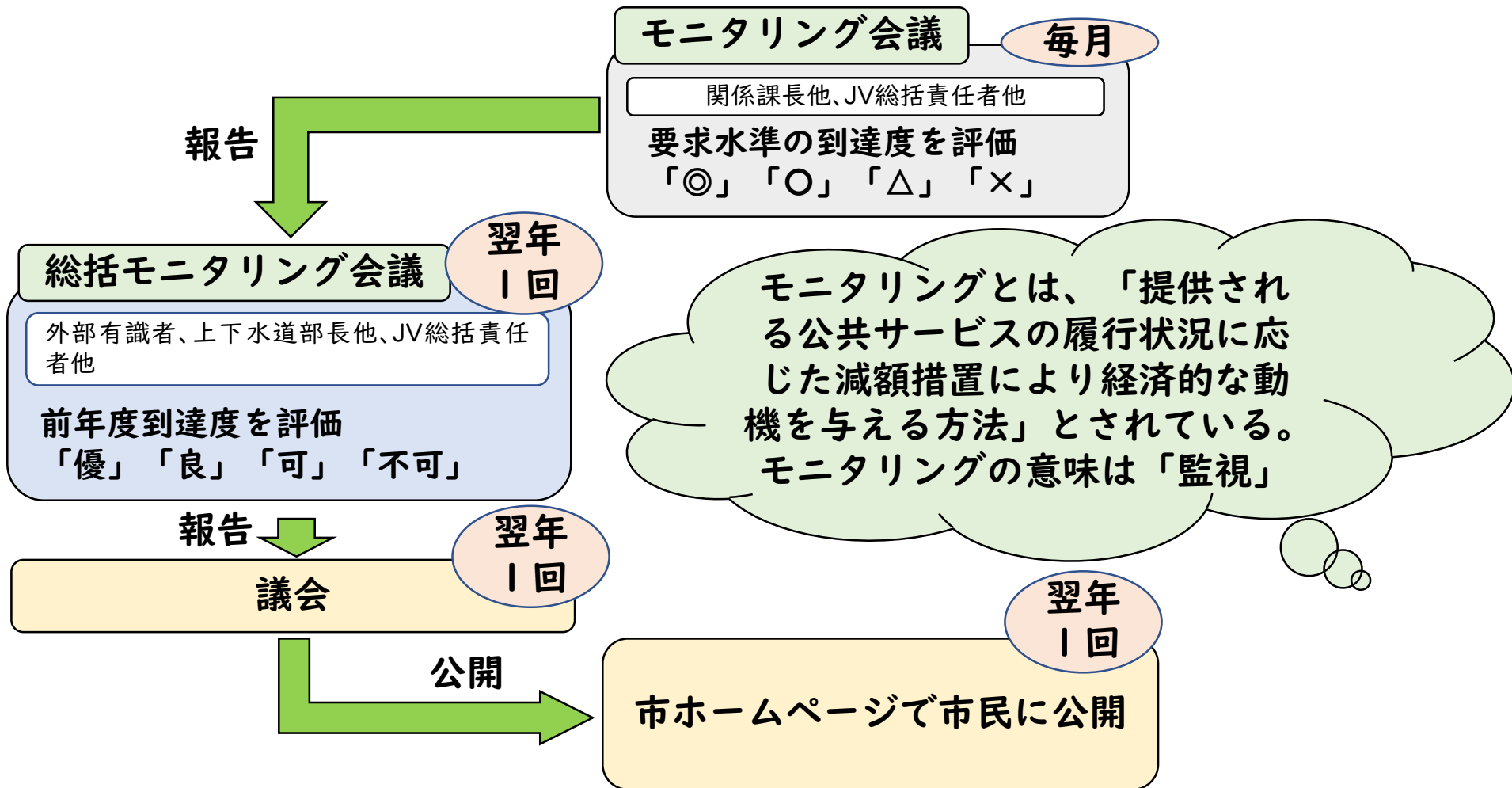


○第一次包括的民間委託のモニタリングの流れ

第一次のモニタリングの流れ

令和元年度～令和5年度

福知山市

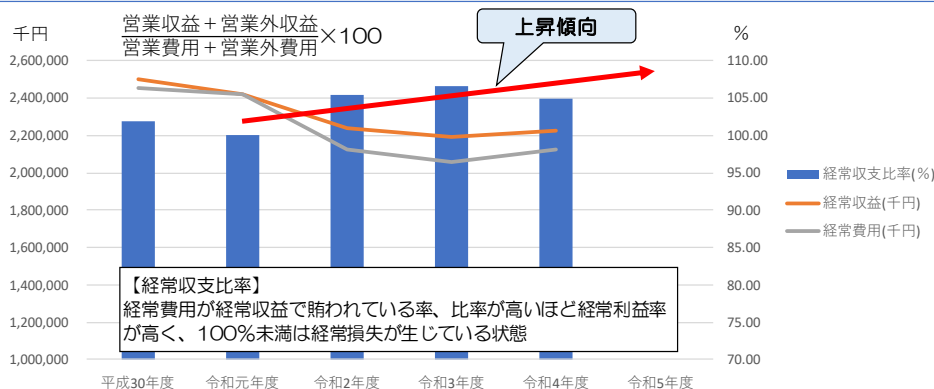


○第一次包括的民間委託の効果

① 経常収支比率

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収支比率(%)	101.82	100.02	105.38	106.58	104.99	
経常収益(千円)	2,499,363	2,420,871	2,240,825	2,194,725	2,227,235	
経常費用(千円)	2,454,618	2,420,332	2,126,359	2,059,221	2,121,388	

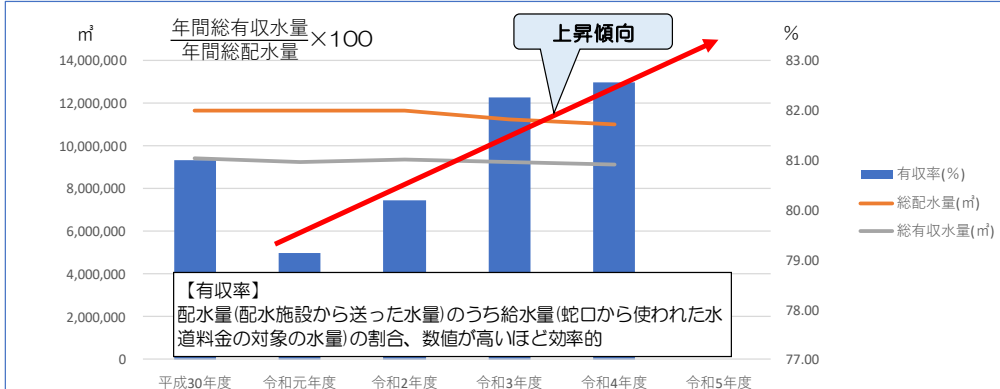
経営比較分析表より



② 有収率

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有収率(%)	80.99	79.13	80.20	82.25	82.57	
総配水量(m)	11,651,523	11,677,558	11,670,947	11,223,260	11,035,766	
総有収水量(m)	9,437,114	9,240,926	9,360,120	9,231,248	9,112,511	

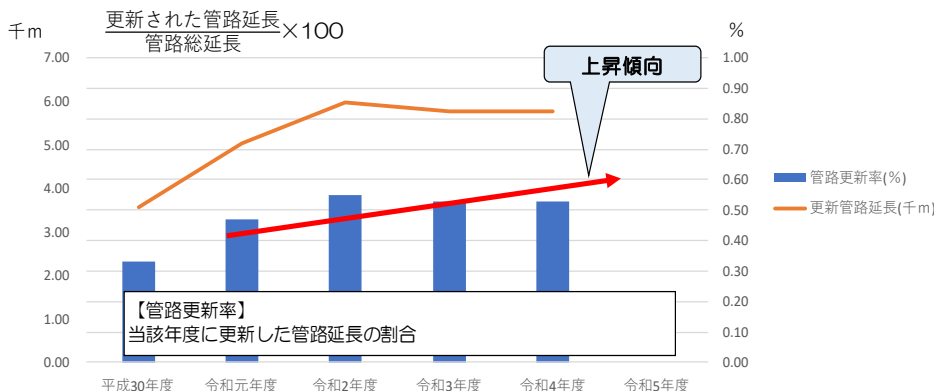
経営比較分析表より



③ 管路更新率

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管路更新率(%)	0.33	0.47	0.55	0.53	0.53	
更新管路延長(千m)	3.56	5.04	5.99	5.77	5.77	
管路総延長(千m)	1,081.38	1,081.27	1,082.64	1,083.80	1,085.12	

経営比較分析表より



○経常収支比率は、令和2年度以降は上昇傾向、包括的民間委託導入前の平成30年度と比較して令和4年度は3.17%増加

○有収率は、上昇傾向、導入前の平成30年度と比較して、令和4年度は1.58%増加

○管路更新率は、職員が管路更新に注力できるようになった結果、上昇傾向、導入前の平成30年度と比較して令和4年度は0.2%増加

○いずれの数値も、包括的民間委託導入後は上昇傾向にあることから、包括的民間委託を継続することにより上昇傾向は継続するものと考えます。

～令和4年度福知山市総括モニタリング評価書より～

○第二次包括的民間委託の導入

【将来の課題】

- ・水需要の低下による料金収入の減少
- ・老朽化管路・施設の更新費用増大による経営基盤の悪化

継続課題

引き続き経営改革が必要

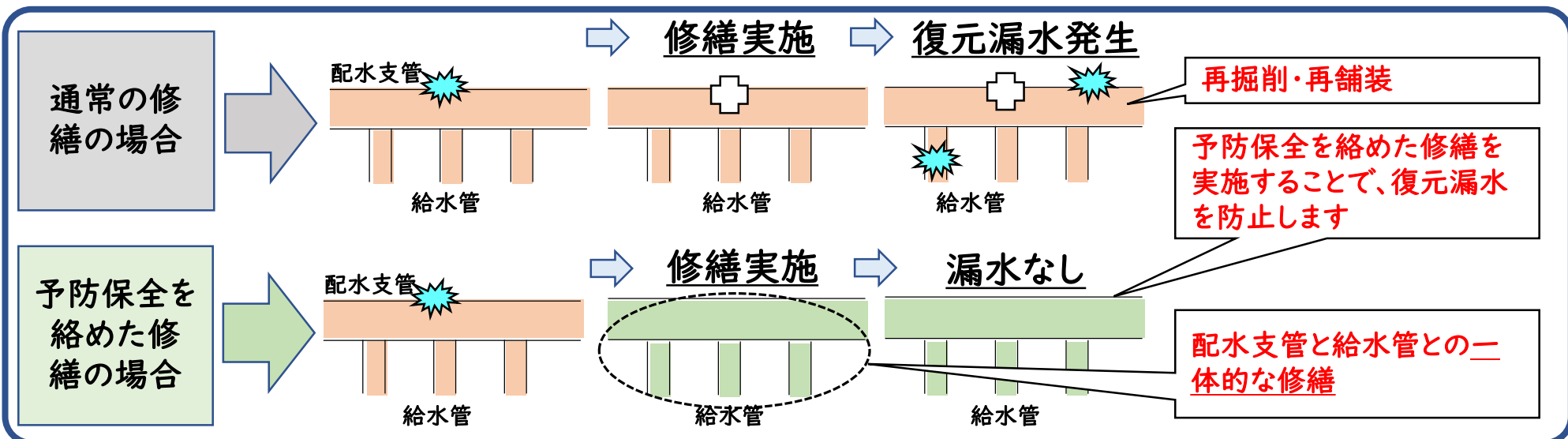
第二次包括的民間委託

- 期 間 **5年間**【令和6年4月1日から令和11年3月31日まで】
- 内 容 **一括委託**【水道施設運転管理業務、水道施設保全管理業務、水道管路保全管理業務、窓口料金関連業務、広報業務、庁舎管理業務、計画点検業務】
- 方 法 **性能発注**【プロポーザル方式により決定】
- 契約先 **ウォーターサービスきほく(株)**(メタウォーター(株)・メタウォーターサービス(株)・(株)フューチャーイン・福知山管工事協同組合・西日本旅客鉄道(株))
- 金 額 **約39億円**
- 開始日 **令和6年4月1日から第二次包括的民間委託業務開始**

ウォーターサービスきほく(株)は本契約のSPCとして設立

○第二次包括的民間委託の概要①

予防保全修繕を有収率向上対策業務として委託



- ・再掘削、再舗装、復元漏水発生防止による経費削減
- ・通行止め予告や計画断水による市民生活への影響の軽減

有収率が、全国平均並みになれば、年間1億程度の経費が削減されると予想→有収率の向上は経費の削減効果につながる

年度	30年度	元年度	2年度
全国平均有収率	87.41%	87.08%	87.26%
本市有収率	80.99%	79.13%	80.20%

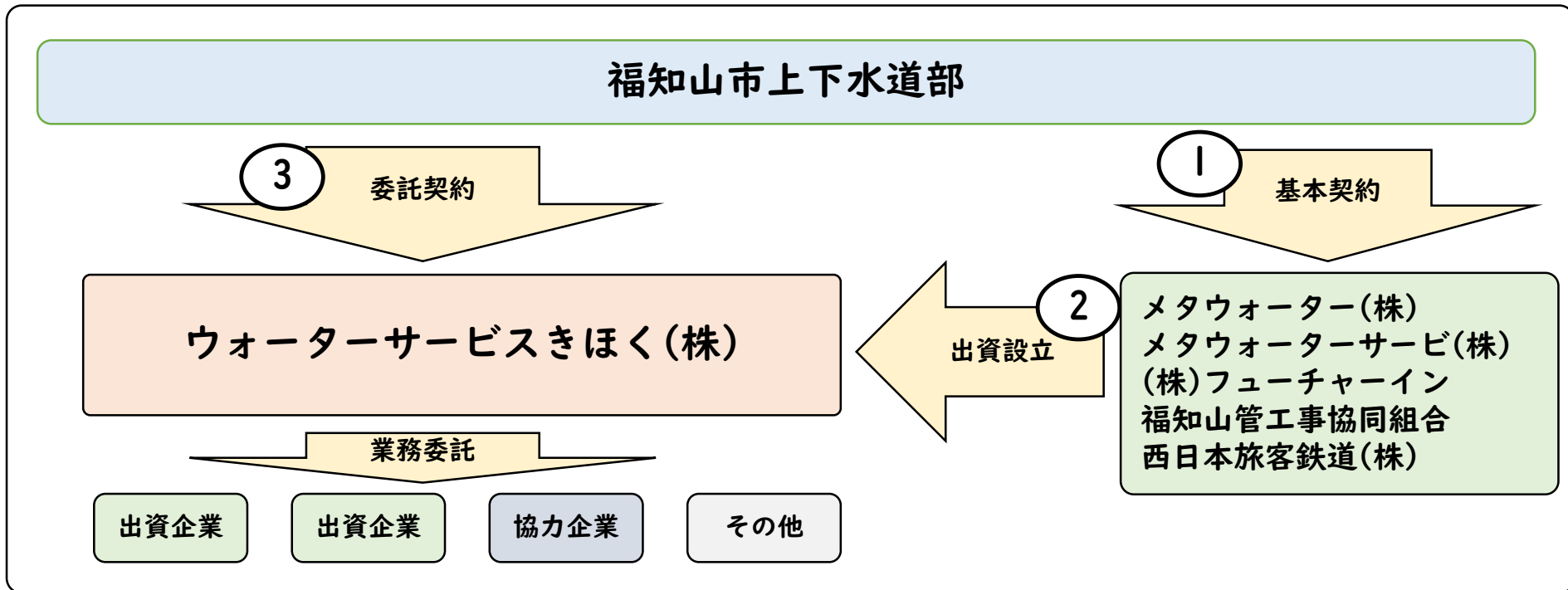
【復元漏水とは?】複雑な要因により、漏水は絶えず発生しており、修繕をしても期間が経過するにつれて再度漏水が発生する、このことを復元漏水という。
地区単位では1年後に約73%で復元漏水が発生している。

～福知山市堀1系年度別漏水調査結果より～



○第二次包括的民間委託の概要②

○委託契約を受託するための新会社を新たに設立



事業者選定はプロポーザル方式で実施、選定グループと基本契約を締結後①、選定グループが設立した株式会社②と委託契約を締結③。
 1法人となることで、より迅速な意思決定が可能となり、法人の決算報告により経理面が明確化されることを期待。

監視から連携へ

第二次のパートナーシップの流れ

令和6年度～令和10年度

福知山市

受注者

業務別会議

毎月

関係係長他、WSK担当者

業務別に水質や有収率等の数値目標達成確認、業務の執行上での課題、見直し等の協議

報告

パートナーシップ会議

毎月

関係課長他、WSK総括責任者他

課題の共有・解決

公開

毎月

市ホームページで市民に公開
(数値目標達成状況等)

- ◎水道施設運転管理業務 ◎水道施設保全管理業務
- ◎水道管路保全管理業務 ◎窓口・料金関連業務
- ◎広報業務 ◎庁舎管理業務 ◎計画点検業務

第三者アドバイス会議

当該年度

外部有識者、上下水道部長他、WSK総括責任者他

外部有識者による意見や助言を次年度業務実施計画へ反映

報告

モニタリング(監視)の名称を改め、官民連携(PPP(Public Private Partnership))の名称を参考に、Partnership会議としたもの。業務執行上の課題を官(Public)と民(Private)が対等な立場で解決していくことを期待。

WSK= ウォーターサービスきほく株式会社

令和6年度から、より一層の市民サービスの向上を目指し、第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託を実施します。

ご清聴ありがとうございました。